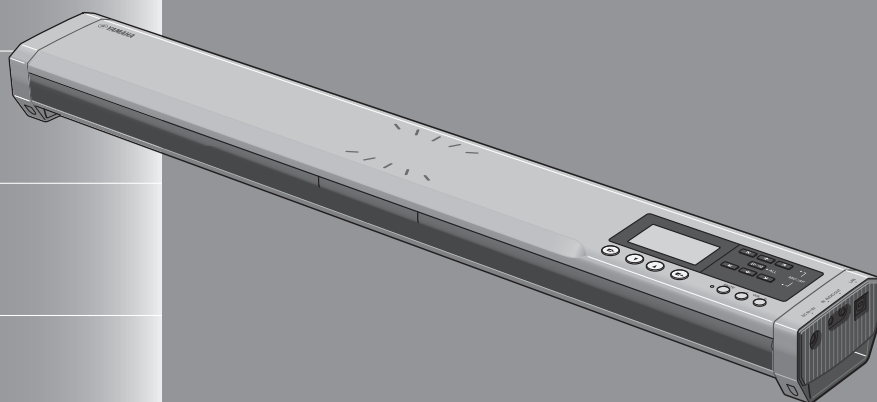




PJP-100UH

会議用マイクスピーカー

ProjectPhone



はじめに

準備する

設定を変更する

困ったときは

付録

取扱説明書

ヤマハ PJP-100UH をご購入いただきありがとうございます。
お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。

本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。
本書はなくさないように、大切に保管してください。

安全上のご注意

本機を安全にお使いいただくために

以下の点を必ず守ってお使いください。

安全のための注意事項を守る

詳しくは、6～8ページをご覧ください。

故障したら使用を中止する。

お買い上げの販売店またはヤマハのお問い合わせ窓口(41ページ)にご連絡ください。

マークの意味

本書では、本機を安全にお使いいただくため、守っていただきたい事項に次のマークを表示していますので、必ずお読みください。

警告

人体に危険を及ぼしたり、装置に大きな損害を与える可能性があることを示しています。必ず守ってください。

注意

機能停止を招いたり、各種データを消してしまう可能性があることを示しています。十分注意してください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本体の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 本機を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本機の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

はじめにお読みください

お買い上げいただき、ありがとうございます。

本機はTV会議システムやWeb会議システムに接続して、音声端末として機能する会議用マイクスピーカーです。

付属品をご確認ください

- ACアダプター (1個)
- 電源コード (1本)
- スペーサー (3個)
- USBケーブル (1本)
- 取扱説明書 (本書) (1冊)
- 保証書 (1枚)

本書の主な内容

必要な準備についての情報

- 準備する ▶ 17 ページ

本機の機能を使いこなすための情報

- 本体のキー操作で設定する ▶ 29 ページ
- 設定項目一覧 ▶ 30 ページ
- 最新の機能を利用する (リビジョンアップ) ▶ 35 ページ

問題が発生した場合に、問題を解決するための情報

- 困ったときは ▶ 37 ページ
- サポート窓口のお問い合わせ先 ▶ 41 ページ

その他、本書には多くの情報が記載されています。
詳しくは目次をご覧ください。

▶ 4 ページを
ご覧ください。

目次

安全上のご注意.....	2
はじめにお読みください.....	3
⚠ 警告.....	6
⚠ 注意.....	7
使用上のご注意.....	8
本書の表記について	9
本製品のお客サポートについて(サポート規定)	10

はじめに

PJP-100UHでできること.....	12
各部の名称とはたらき	13
上面	13
右側面.....	14
その他.....	15
画面の見かた	16

準備する

準備の流れ.....	17
準備を始める前にご確認ください.....	18
準備1：接続する	19
準備2：パソコンの設定を変更する	21
準備3：会議室に設置する.....	23
設置時のご注意	23
操作時に本機が揺れる場合は	24
音声接続ケーブルで接続する.....	25
音声接続ケーブルで接続する	25
パソコン側の設定を変更する	26
連結接続する	28

設定を変更する

本機の設定を変更する	29
設定項目一覧	30
サウンド設定	30
環境設定	33
出荷状態に戻す	34
最新の機能を利用する(リビジョンアップ)	35

困ったときは

故障かな?と思ったら.....	37
Q1: LED類が消灯している	38
Q2: 通話音声に問題がある	39
本機の設定を初期化する.....	40
サポート窓口のご案内.....	41

付録

主な仕様.....	42
本機を譲渡／廃棄する際のご注意.....	43

警告

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機(付属品を含む)は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠していません。
- 本機は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。
本機を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 付属の電源コードは国内用です。AC100Vのコンセントに接続して使用してください。
- 本機から発煙や異臭がするとき、内部に水分や薬品類が入ったとき、および電源コードが発熱しているときは、直ちに電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源コードを触らないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 電源コードの上に重いものを載せたり、電源コードをステーブルで止めたりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 安全のため、電源コードは容易に外すことのできるコンセントに接続してください。家具の後ろなど手の届かない場所にあるコンセントには接続しないでください。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 電源を入れたままケーブル類を接続しないでください。感電や故障、本機および接続機器の破損の恐れがあります。
- 本機のポートに指や異物を入れないでください。感電や故障、ショートの原因となります。
- 本機を他の機器と重ねて置かないでください。熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源コードやケーブル類を取り外し、使用をお控えください。落雷によって火災や故障の原因となることがあります。
- 本機を下記の場所には設置しないでください。水滴の混入により、火災や感電の原因となります。
 - － 浴室、加湿器を適度にきかせた部屋など
 - － 雨や雷、水がかかるところ

注意

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機を持ち運ぶ際に、指などを左右のレッグの穴部分に差し入れたまま、大きく本機の向きを変えるなどしないでください。取り扱い方によっては、指などを負傷する恐れがあります。
- 本機のコネクタ部分には直接手を触れないでください。本機は静電気に敏感な部品を使用しているため、部品が故障する恐れがあります。コネクタの接点、部品などを素手で直接触れないでください。
- 電源プラグのほこり等は定期的にふき取ってください。ほこり等が付着した状態で使用すると、故障や動作不良の原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、故障や動作不良の原因となります。
- 直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、電源コードをコンセントから抜き、乾燥させ、充分室温に慣らしてから使用してください。
- ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- アースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。アース接続は必ず、電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源コードをコンセントから取りはずしてから行ってください。
- 本機を修理や移動等の理由により輸送する場合には、必ず本機の設定を記録しておいてください。

使用上のご注意

- 本機の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 誤動作や故障により本機の記録内容が変化・消失する場合があります。重要なデータはお客様の責任のもと、定期的に記録されることをお奨めいたします。
- 本機のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本機の設置場所、向きを変えてみてください。
- 本機を譲渡する際は、マニュアル類も同時に譲渡してください。
- 本機を廃棄する場合には不燃物ゴミとして廃棄してください。または、お住まいの自治体の指示に従ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波について

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

本書の表記について

略称について

本書ではそれぞれの製品について、以下のように略称で記載しています。

- YAMAHA PJP-100UH：本機
- Microsoft® Windows®：Windows
- Microsoft® Windows XP®：Windows XP
- Microsoft® Windows 2000® Professional：Windows 2000 Professional

詳細な技術情報について

本機を使いこなすためには、パソコンの設定やインターネット、ネットワークに関する詳しい知識が必要となる場合があります。付属のマニュアルではこれらの情報について解説しておりませんので、詳しくは市販の解説書などを参考にしてください。

商標について

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。

本製品のお客様サポートについて

(サポート規定)

ヤマハ株式会社は本製品を快適に、またその性能・機能を最大限に活かしたご利用が可能となりますように以下の内容・条件にてサポートをご提供いたします。

1. サポート方法

- ①FAQ、技術情報、設定例、ソリューション例等のWeb掲載
- ②電話でのご質問への回答
- ③お問い合わせフォームからのご質問への回答
- ④カタログ送付
- ⑤代理店・販売店からの回答

ご質問内容によっては代理店・販売店へご質問内容を案内し、代理店・販売店よりご回答させていただく場合がありますので予めご了承のほどお願い致します。

2. サポート項目

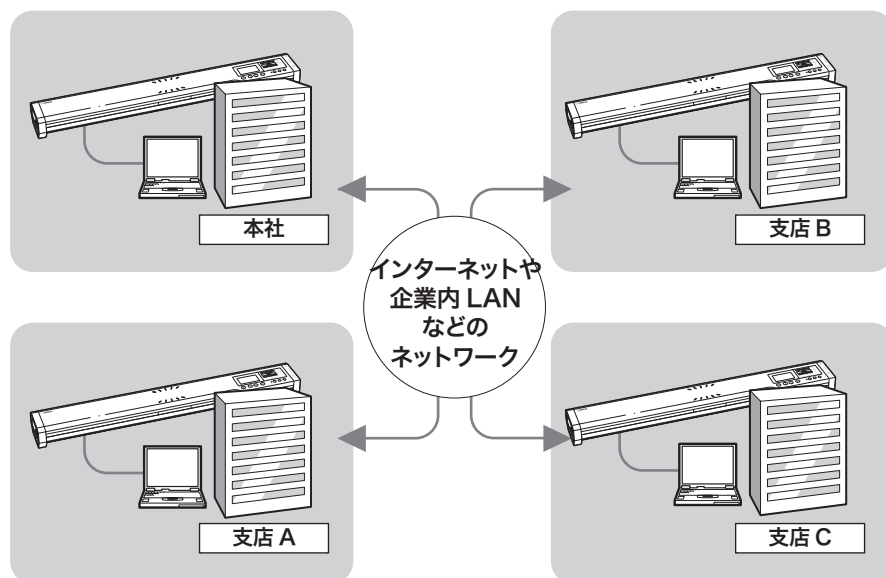
- ①製品仕様について
- ②お客様のご利用環境に適した弊社製品の選定について
- ③簡易なネットワーク構成での利用方法について
- ④製品の修理について
- ⑤代理店または販売店のご紹介

3. 免責事項・注意事項

- ① 回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもって行いますが、回答内容の保証、及び回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。
また、サポートの結果又は製品をご利用頂いたことによって生じたデータの消失や動作不良等によって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益等を含む損失及びそれらに付随的な損失等のあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。
尚、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。但し、契約及び法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものと致します。
- ② ファームウェアの修正は弊社が修正を必要と認めたものについて生産終了後2年間行います。
- ③ 実ネットワーク環境での動作保証、性能保証は行っておりません。
- ④ 期日・時間指定のサポート、及び海外での使用、日本語以外でのサポートは行っておりません。
- ⑤ お問い合わせの回答を行うにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。
- ⑥ 再現性がない、及び特殊な環境でしか起きない等の事象に関しては、解決のための時間がかかったり適切なサポートが行えない場合があります。
- ⑦ オンサイト保守・定期保守等は代理店にて有償にて行います。詳細な内容は代理店にご確認をお願い致します。
- ⑧ 他社サービス、他社製品、及び他社製品との相互接続に関するサポートは弊社Web上に掲載している範囲に限定されます。
- ⑨ やむを得ない事由により本機の返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。尚、交換、返品に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。
- ⑩ 製品の修理は代理店・販売店経由で受付けさせていただきます。弊社への直接持ち込みはできません。また、着払いでの修理品受付は致しておりません。発送は弊社指定の通常宅配便(国内発送のみ)にて行わせて頂きます。修理完了予定期間は変更になる場合がありますのでご了承のほどお願い致します。尚、保証期間中の無償修理(無償例外事項)等の詳細規定は保証書に記載しております。
- ⑪ 上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

PJP-100UHでできること

本機はTV会議システムやWeb会議システムに接続して、音声端末として機能する会議用マイクスピーカーです。



TV会議 & Web会議システムへの接続

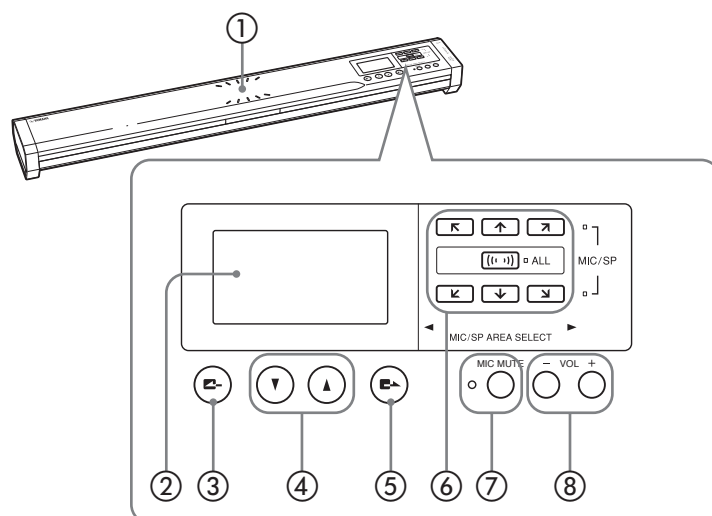
TV会議やWeb会議システムと接続して、会議システムのマイクスピーカーとして使用できます。音声入出力部分を本機に置き換えることで、より「話しやすく」「聞きやすい」TV会議を実現できます。

高音質の会議を実現するアレイ型マイク＆スピーカー

利用環境に合わせて收音エリアを柔軟にコントロールできるため、明瞭な会話を実現できます。また、音声出力の指向性制御を行うことで、音量を上げなくても最適スポットに着座している参加者に明瞭な音声が伝わります。

各部の名称とはたらき

上面



① マイクインジケータ

收音方向を、青色LEDの点灯で示します。

② ディスプレイ

本機の状態を表示します。「画面の見かた」(16ページ)もあわせてご覧ください。

③ (取消) キー

設定を保存せずに取り消したり、前の画面に戻る際に押します。

④ ▲/▼ (上下選択) キー

設定項目を選んだり、カーソルを移動する際に押します。

⑤ (決定) キー

設定を確定する際に押します。

⑥ エリア指定キー

マイクモード設定(30ページ)で、收音エリアを指定する際に使用します。

⑦ MIC MUTE キー

本機のマイクを一時的に停止(ミュート)する際に押します。ミュート中は、MIC MUTEキーの隣にあるLEDが赤色で点灯します。

もう一度MIC MUTEキーを押すとミュートは解除され、LEDが消灯します。

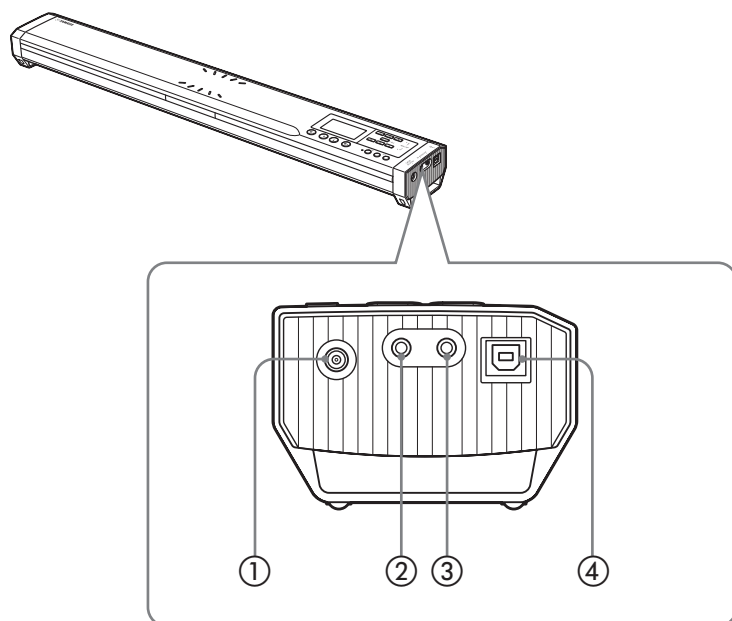
ヒント

MIC MUTEキーを押し続けると、本機の電源を切ることができます。この方法で電源を切った場合は、本機のいずれかのキーを押すと電源を再投入できます。

⑧ VOL +/- キー

スピーカーの音量を調整する際に押します。押し続けると、連続して音量を上げ下げできます。

右側面



① DC IN 12V端子

付属のACアダプターを接続します。

② AUDIO IN端子

オーディオ機器やパソコンのライン出力端子に接続します。

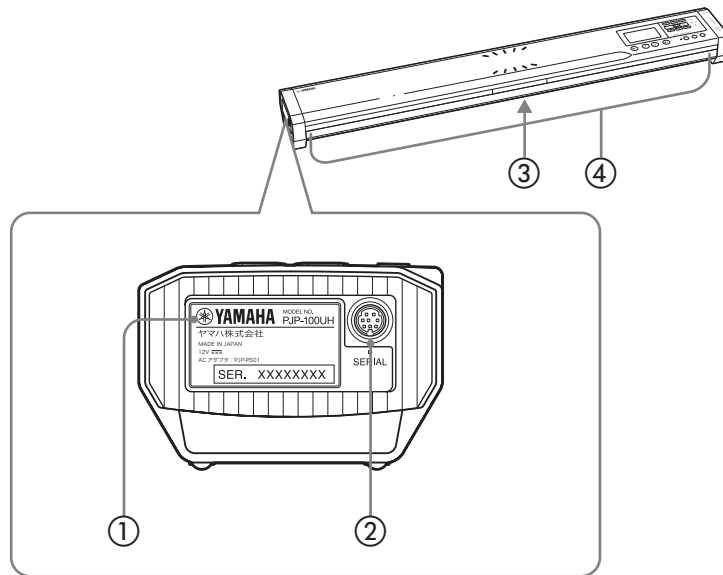
③ AUDIO OUT端子

オーディオ機器やパソコンのライン入力端子に接続します。

④ USBポート

パソコンとUSBケーブルで接続します。

その他



① ラベル

以下の情報が記載されています。

- **MODEL No.:** 本機の機器名が記載されています。
- **SER.:** 製品を管理／区分するための製造番号（シリアル番号）です。

② SERIAL 端子

将来の拡張用です。

③ アレイスピーカー（底面）

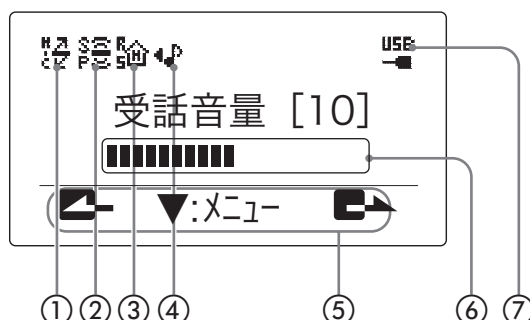
通話相手の音声を出力します。底面に12個配列されています。

④ アレイマイク（側面）

発話者の音声を取得します。両側面に16個ずつ配列されています。

画面の見かた

初期画面の表示例



① マイクモード表示

通話中の音声出力方法が表示されます。詳しくは、「収音エリアを選ぶ(マイクモード)」(30ページ)をご覧ください。

- ：ゾーンモードで音声を出力します。
- ：スポットモードで音声を出力します。
- ：追尾モードで音声を出力します。

② スピーカーモード表示

通話中の音声出力方法が表示されます。詳しくは、「音声出力モードを選ぶ(スピーカーモード)」(32ページ)をご覧ください。

- ：拡散モードで音声を出力します。
- ：スポット小モードで音声を出力します。
- ：スポット中モードで音声を出力します。
- ：スポット大モードで音声を出力します。

③ ルームサイズ表示

部屋の大きさに合わせた音響処理方法が表示されます。詳しくは、「部屋の大きさに合わせる(ルームサイズ)」(33ページ)をご覧ください。

- ：「大」設定で動作します。
- ：「中」設定で動作します。
- ：「小」設定で動作します。

④ 外部入出力表示

外部入出力の設定が表示されます。詳しくは、「外部機器を接続する場合に設定を変更する(外部入出力)」(33ページ)をご覧ください。

- (表示なし)：外部入出力が設定されていません。
- ：本機に外部オーディオ機器を接続する設定です。
- ：本機にPJPを連結接続(28ページ)する設定です。

⑤ 操作ガイド

表示されている画面で利用できる操作と、操作に使用するキーが表示されます。

⑥ 受話音量表示

スピーカーからの出力音声レベルが表示されます。

⑦ USB表示

本機にUSB経由でパソコンが接続されている場合に表示されます。音声接続ケーブルで接続している場合や、USBケーブルが正常に接続されていない場合は、USB表示の左側に×マークが表示されます。

準備の流れ

本機を利用するには、以下の順序で準備を行う必要があります。

USBケーブルでパソコンと接続する場合

準備1

本機をパソコンに接続して、
電源を入れる

▶19ページ



準備2

本機を接続したパソコンの
設定を変更する

▶21ページ



準備3

会議室に設置する

▶23ページ

音声接続ケーブルでパソコンと接続する場合

準備1

本機をパソコンに接続して、
電源を入れる

▶19ページ、
▶25ページ



準備2

本機を接続したパソコンの
設定を変更する

▶26ページ



準備3

会議室に設置する

▶23ページ



ヒント

本機を2台連結して使用(連結接続)する場合の接続方法については、28ページをご覧ください。

準備を始める前にご確認ください

USBケーブル(USBでパソコンに接続する場合)

USBロゴの付いた認証ケーブルをご用意ください。

音声接続ケーブル(USB以外でパソコンや外部機器と接続する場合)

音声接続ケーブル(ステレオミニケーブル)を2本をご用意ください。

本機を接続するパソコンの仕様

本機を接続するパソコンには、以下のシステム環境が必要です。

- CPU：750MHz以上のIntel Pentium/Celeron プロセッサ(および互換プロセッサ)
- OS：Windows XP ProfessionalまたはWindows XP Home Edition、Windows 2000 Professional
- メモリ：128MB以上(256MB以上推奨)
- USB端子：USB1.1以降(USB 2.0対応を推奨)

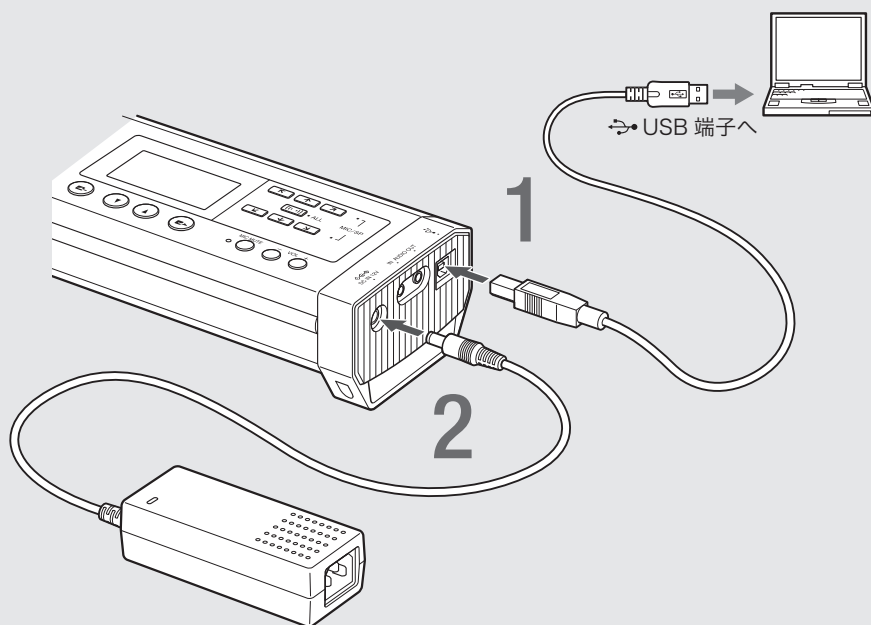
ご注意

- 本機とパソコンは、直接接続してください。USBハブを経由して接続すると、動作に問題が生じる可能性があります。
- パソコン本体の使用状況(作業負荷やメモリ残の状況)などにより、まれに音声再生が途切れることがあります

準備 1

接続する

以下の手順で本機をパソコンに接続してから、ACアダプターを接続します。



1

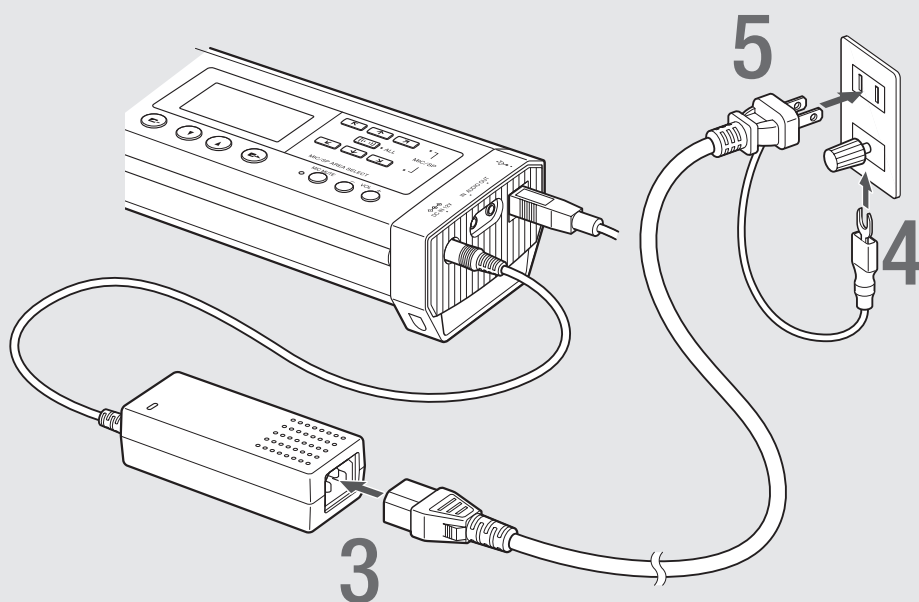
本機のUSBポートを、USBケーブルでパソコンに接続する。



USBケーブルでパソコンと接続する以外に、音声接続ケーブルで本機をパソコンやTV会議システムと接続することもできます。詳しくは、「音声接続ケーブルで接続する」(25ページ)をご覧ください。

2

DC IN 12V端子に、ACアダプターを接続する。



3

電源コードをACアダプターに接続する。

4

アースコードをコンセントのアース端子へ接続する。

ご注意

アースコードは必ずコンセントのアース端子に接続してください。ガス管などには、絶対に接続しないでください。

5

本機の電源コードをコンセントに接続する。

本機の電源が入り、マイクインジケーターが順に点灯します。

⚡ 電源コードを取りはずす場合は

先に電源コードを取りはずしてから、アースコードを取りはずしてください。

💡 ヒント

MIC MUTEキーを押し続けると、本機の電源を切ることができます。この方法で電源を切った場合は、本機のいずれかのキーを押すと電源を再投入できます。

パソコンの設定を変更する

PJP-100UHを会議システムの外部マイクスピーカーとして使用するには、パソコン側で以下の設定を行う必要があります。

ここでは、Windows XPの場合を例にして説明します。

💡 ヒント

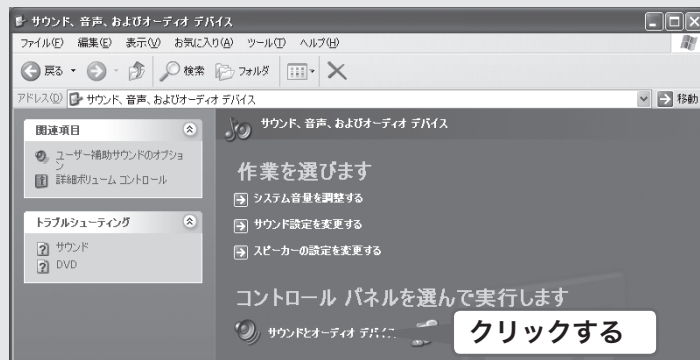
本機はパソコンから標準のUSBオーディオデバイスとして認識されるため、ドライバを別途インストールする必要はありません。

1 「スタート」メニューをクリックして、「設定」-「コントロールパネル」をクリックする。

2 「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックする。



3 「サウンドとオーディオデバイス」をクリックする。



「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面が表示されます。

4

「オーディオ」タブをクリックする。



5

以下の通りに設定を変更する。

- 「音の再生」欄の「既定のデバイス」：YAMAHA PJP-100UH
- 「録音」欄の「既定のデバイス」：YAMAHA PJP-100UH



6

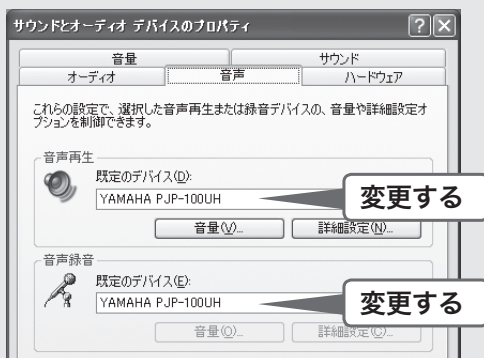
「音声」タブをクリックする。



7

以下の通りに設定を変更する。

- 「音声再生」欄の「既定のデバイス」：YAMAHA PJP-100UH
- 「音声録音」欄の「既定のデバイス」：YAMAHA PJP-100UH



8

「OK」をクリックして、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面を閉じる。

準備 3

会議室に設置する

本機を会議室などの実際に会議を行う場所に設置します。設置の際は、以下の点にご注意ください。

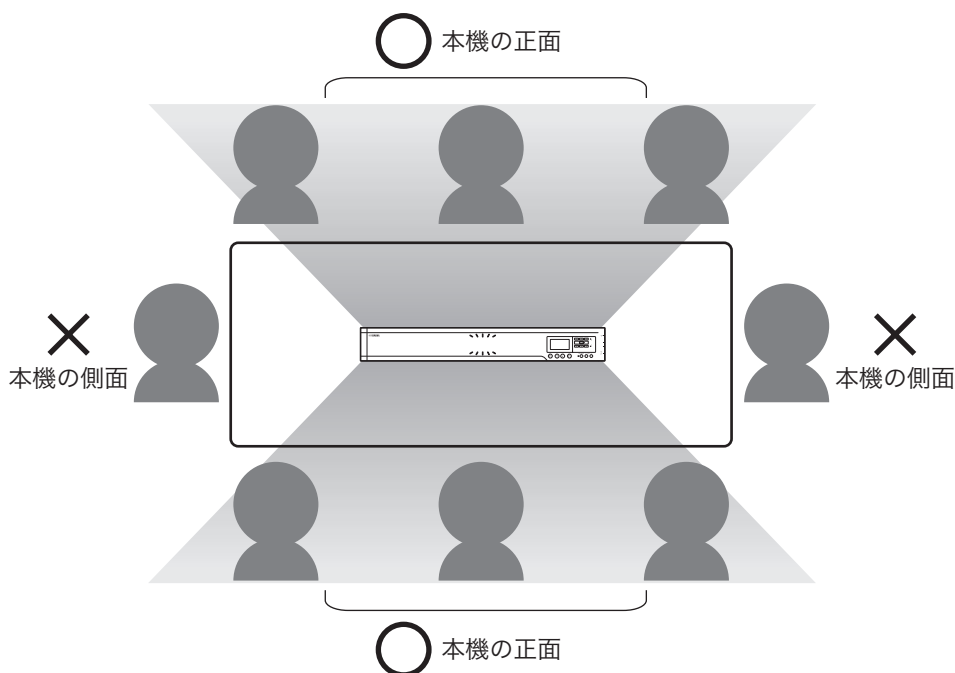
設置時のご注意

設置環境について

本機のスピーカは下面下向きに配列されております。机上に水平に設置し、下には物等を置かないでください。

発話者の着座位置を考慮して設置してください

本機のマイクおよびスピーカーのアレイ効果を最大限に活かして明瞭な会話を実現するために、下図のハイライト範囲内が着座位置になるように設置してください。



ご注意

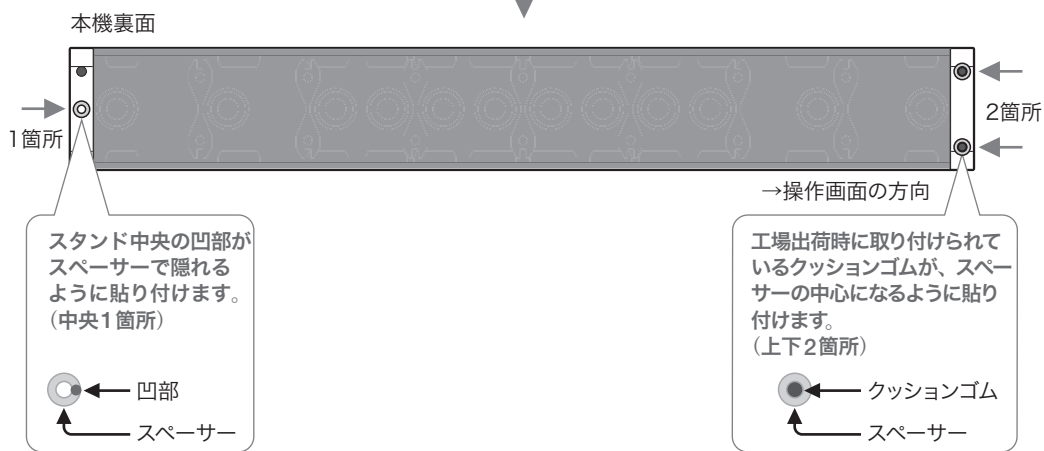
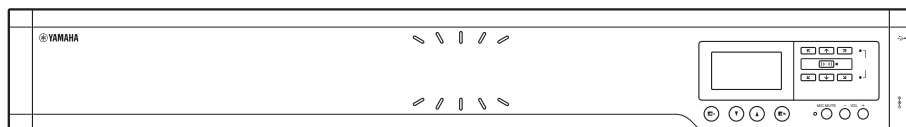
上図×位置付近から発話すると、音声クリアに収音できないおそれがあります。

💡 ヒント

利用環境に合わせて、上記の収音エリアの設定を変更できます。詳しくは「収音エリアを選ぶ(マイクモード)」(30ページ)をご覧ください。

操作時に本機が揺れる場合は

設置した台や机が平坦でないなどの理由で本機が安定しない場合は、付属のスペーサー（3個）を下図の位置に貼り付けてください。



音声接続ケーブルで接続する

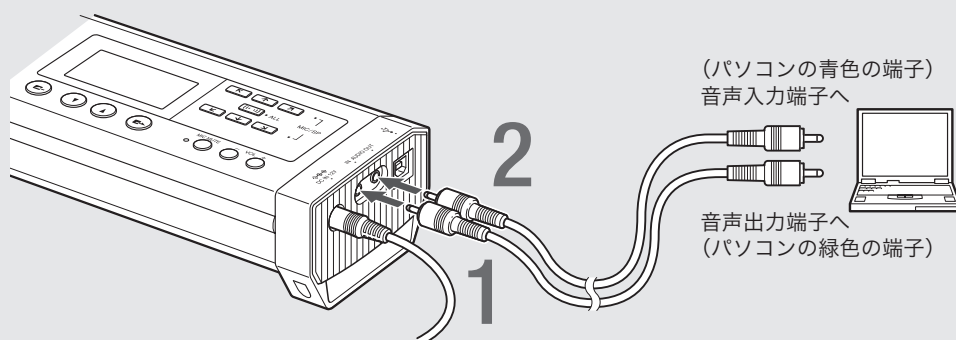
USBケーブルでパソコンと接続する以外に、音声接続ケーブルで本機をパソコンやTV会議システムと接続することもできます。この場合は、以下の手順で接続、設定を行ってください。

音声接続ケーブルで接続する

市販の音声接続ケーブル(ステレオミニケーブル)を2本使用して接続します。

ご注意

以下の説明は、パソコンの入出力端子部分が色分けされていることを前提にしています。色分けされていないパソコンをお使いの場合は、お使いのパソコンの取扱説明書で入出力端子の機能と場所をご確認の上で、適切な端子に接続してください。



1

本機のAUDIO IN端子とパソコンやTV会議システムの音声出力端子を接続する。

パソコンと接続する場合は、パソコンの緑色の端子と接続してください。

2

本機のAUDIO OUT端子とパソコンやTV会議システムの音声入力端子を接続する。

パソコンと接続する場合は、パソコンの青色の端子と接続してください。

ご注意

パソコンやTV会議システムの音声入力端子に接続する際は、マイク入力端子(パソコンの場合は赤色の端子)には接続しないようおすすめします。入力信号が過大になり、音質が劣化する可能性があります。

パソコン側の設定を変更する

本機からパソコンに入力された音声そのまま本機に再出力されないように、設定を変更します。また、本機の音声はパソコンのライン入力端子から入力されるため、ライン端子からの音声入力を受け付けるように設定を変更する必要があります。

準備する

1

21 ページの手順1～3の通り操作して、「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」画面を開く。

2

「オーディオ」タブをクリックする。



3

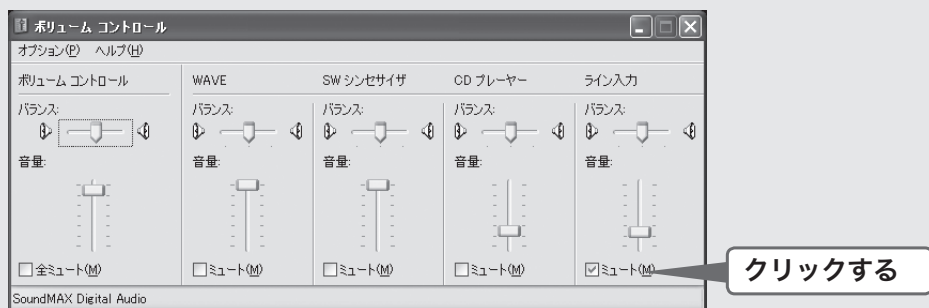
「音の再生」欄の「音量」をクリックする。



「ボリュームコントロール」画面が表示されます。

4

「ライン入力」欄の「ミュート」をクリックして、チェックを付ける。



5

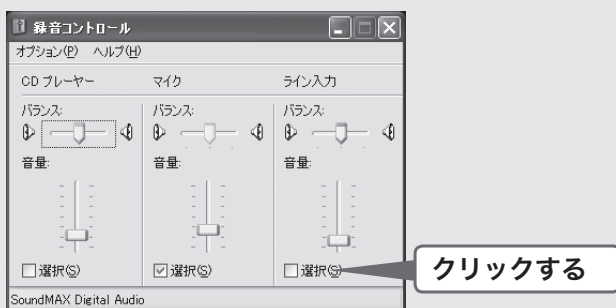
「録音」欄の「音量」をクリックする。



「録音コントロール」画面が表示されます。

6

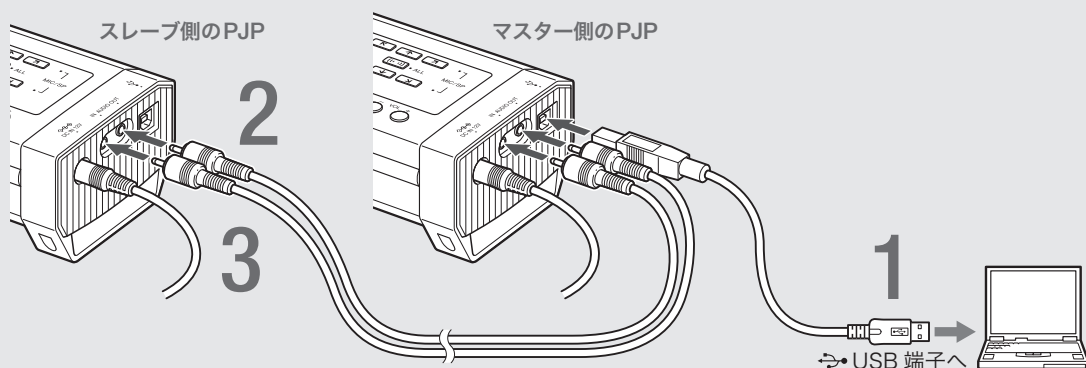
「ライン入力」欄の「選択」をクリックして、チェックを付ける。



連結接続する

パソコンとUSB経由で接続したPJP-100UHに、市販の音声接続ケーブル(ステレオミニケーブル)を使用してもう1台のPJP-100UHを接続することで、より広いスペースでの会議や大人数での会議に対応できます。

準備する



1

PJP-100UHとパソコンをUSBケーブルで接続する。

詳しくは19ページをご覧ください。

2

パソコンに接続したPJP-100UH（マスター側）のAUDIO OUT端子ともう1台のPJP-100UH（スレーブ側）のAUDIO IN端子を、市販のステレオミニケーブルで接続する。

3

パソコンに接続したPJP-100UH（マスター側）のAUDIO IN端子ともう1台のPJP-100UH（スレーブ側）のAUDIO OUT端子を、市販のステレオミニケーブルで接続する。

4

マスター側／スレーブ側双方で、「外部入出力」の設定を変更する。

設定の変更のしかたについて詳しくは、「本機の設定を変更する」(次ページ)および「外部機器を接続する場合に設定を変更する(外部入出力)」(33ページ)をご覧ください。

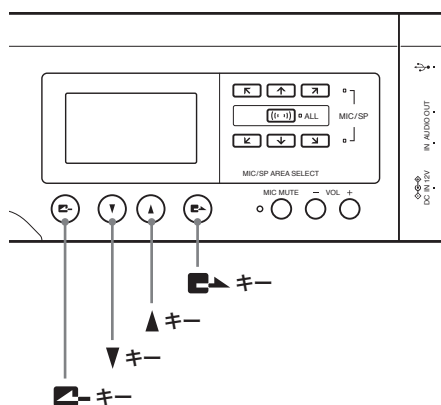
- マスター側のPJP-100UH：「連結」に設定します。
- スレーブ側のPJP-100UH：「オーディオ」に設定します。

本機の設定を変更する

本機の設定の変更は、本体の操作キーで行います。

ご注意

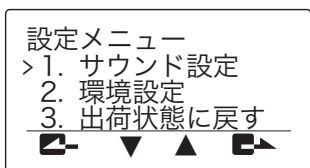
設定メニューの構成や設定項目ごとの設定内容について詳しくは、「設定項目一覧」(次ページ)をご覧ください。



1 初期画面で▼キーを押す。

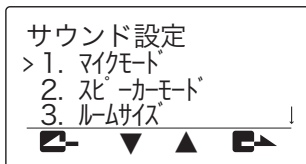


設定メニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼キーを押して設定したい項目の種類を選んでから、左右キーを押す。

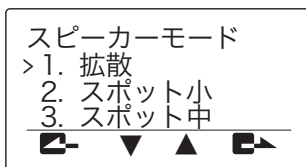
設定画面が表示されます。下図は、「1. サウンド設定」を選んだ場合の例です。



設定メニューの構成については、「設定項目一覧」(次ページ)をご覧ください。

3 設定を変更する。

下図は、「2. スピーカーモード」を選んだ場合の例です。



設定項目ごとの設定内容について詳しくは、「設定項目一覧」(次ページ)をご覧ください。

4 設定が終わったら、左右キーを押す。

設定内容が保存されます。

設定を保存せずに前の画面戻りたいときは

左右キーを押します。

設定項目一覧

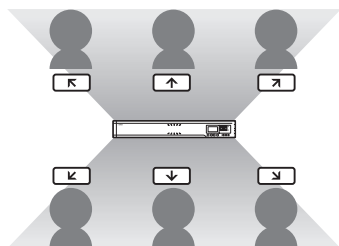
本機で利用できる設定項目は、以下の通りです。

サウンド設定

收音エリアを選ぶ(マイクモード)

通話中のマイクによる收音エリアを指定します。

- **ゾーン**(初期設定値)：発話者の音声だけを追尾せずに、音声を広範囲に收音します。比較的静かな環境下での利用に適しています。「マイクモード」設定画面でエリア指定キーを押して、收音を有効にするエリアを指定してから  キーを押します。押したキーに合わせて、下図の範囲が有効／無効になります。

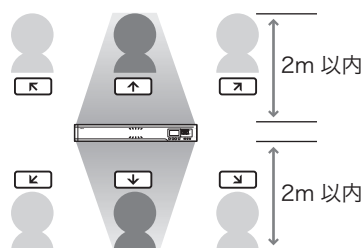


收音が有効な方向すべてのマイクインジケータ（青色LED）が点灯状態となり、表示画面には  と表示されます。

💡 ヒント

-  キーを押すと、すべてのエリアの收音が有効になります。
- 片側の任意のエリアのみを、收音エリアとして指定することはできません。
- 複数のエリアを同時に指定することもできます。ただしこの場合、指定できるのは全エリアまたは向かい合ったエリア( と 、 と 、 と )のセットのみです。

- **スポット**：マイクの收音エリアを狭い指向性で正面中央に固定します。発話者が1～2人で固定されている場合や、周囲にプロジェクタなどの騒音源が存在する環境に適しています。「マイクモード」設定画面でエリア指定キーを押して、收音を有効にするエリアを指定してから  キーを押します。押したキーに合わせて、下図の範囲が有効／無効になります。

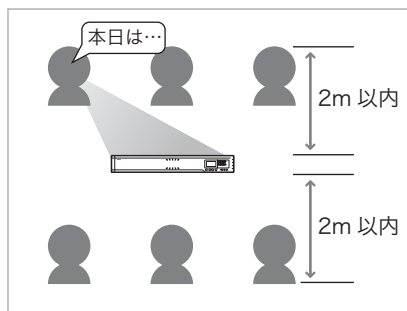


收音が有効な方向すべてのマイクインジケータ（青色LED）が点灯状態となり、表示画面には  と表示されます。

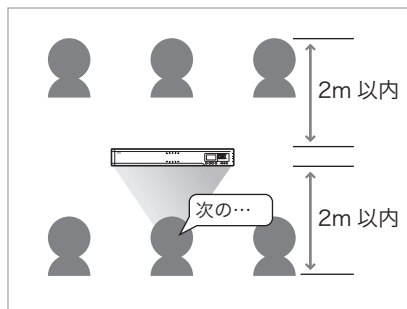
💡 ヒント

- 片側の任意のエリアのみを、收音エリアとして指定することはできません。
- 複数のエリアを同時に指定することもできます。ただしこの場合、指定できるのは向かい合ったエリア( と 、 と 、 と )のセットのみです。

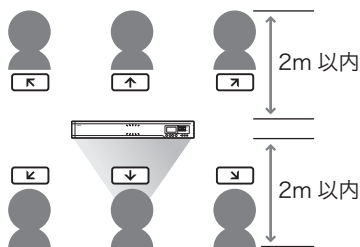
- **追尾**：收音エリアを固定せずに、発話者の音声をマイクシステムがフォーカスして自動追尾します(同時に收音できる発話者は1人のみです)。非常に狭い指向性で收音できるため、発話者の音声以外の周囲雑音を大幅に低減することができます。雑音や騒音が比較的多い環境で、音声をよりクリアに收音したい場合に適しています。



▼ 発話者の方向を自動追尾



「マイクモード」設定画面でエリア指定キーを押して、追尾を有効にするエリアを指定してから  キーを押します。押したキーに合わせて、下図の範囲が有効／無効になります。



收音が有効な方向(現在の発話者の方向)のマイクインジケータ (青色LED)のみが点灯し、表示画面には  と表示されます。

💡 ヒント

-  キーを押すと、すべてのエリアの追尾が有効になります。
- 複数のエリアを同時に指定することもできます。
- 特定方向のみを收音しないように設定することもできます。
- 本機をカメラ対応の会議システムと組み合わせて使用する場合に、本機からカメラをコントロールすることもできます。対応カメラや設定方法について詳しくは、「カメラをコントロールする」(別紙)をご覧ください。

本体キーによる設定

初期設定から「メニュー」→「サウンド設定」→「マイクモード」を選ぶ。

💡 ヒント

初期画面または通話中画面で  キーを押し続けて、「マイクモード」設定画面を表示することもできます。

設定項目一覧(つづき)

音声出力モードを選ぶ (スピーカーモード)

通話中の音声出力方法を指定します。

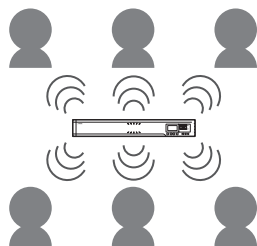
- **拡散**(初期設定値)：複数の拠点と通話している場合でも、拠点ごとに相手の音声を分離せずに出力します(モノラル音声出力)。表示画面には、と表示されます。
- **スポット小**：再生音の聞こえる範囲を下図の範囲に限定して出力します(モノラル音声出力)。表示画面には、と表示されます。



- **スポット中**：再生音の聞こえる範囲を下図の範囲に限定して出力します(モノラル音声出力)。表示画面には、と表示されます。



- **スポット大**：再生音の聞こえる範囲を下図の範囲に限定して出力します(モノラル音声出力)。表示画面には、と表示されます。



本体キーによる設定

初期画面から「メニュー」→「サウンド設定」→「スピーカーモード」を選ぶ。

💡 ヒント

初期画面または通話中画面で  キーを押し続けて、「スピーカーモード」設定画面を表示することもできます。

部屋の大きさに合わせる(ルームサイズ)

部屋の大きさや使用環境にあわせて、ルームサイズを設定できます。通常的环境下、「中」(初期設定値)のままお使いください。

- **大**：オープンスペースやオフィスなどで使用する場合に選びます。表示画面には、と表示されます。
- **中**(初期設定値)：一般的な会議室で使用する場合に選びます。表示画面には、と表示されます。
- **小**：小さい部屋で使用する場合に使います。表示画面には、と表示されます。

本体キーによる設定

初期画面、または通話中画面から「メニュー」→「サウンド設定」→「ルームサイズ」を選ぶ。

外部機器を接続する場合に設定を変更する(外部入出力)

- **なし**：外部入出力を無効にします。
- **オーディオ**(初期設定値)：本機に外部オーディオ機器を接続する場合、この設定を選びます。
- **連結**：連結接続(28ページ)する際に、USBでパソコンと接続している側(マスター側)のPJPでは、この設定を選びます。

本体キーによる設定

初期画面から「メニュー」→「サウンド設定」→「外部入出力」を選ぶ。

環境設定

外部カメラと組み合わせて使用する際の設定を変更する(カメラ追尾)

詳しくは、「カメラをコントロールする」(別紙)をご覧ください。

本体キーによる設定

初期画面から「メニュー」→「環境設定」→「カメラ追尾」を選ぶ。

本機表示部の明るさを指定する

本体のVOL +/−キーを押して、本機表示部の明るさを指定します。

本体キーによる設定

初期画面から「メニュー」→「環境設定」→「LCD コントラスト」を選ぶ。

設定項目一覧(つづき)

出荷状態に戻す

本機の設定を工場出荷状態に戻す

本機の設定を工場出荷状態に戻します。詳しくは、「本機の設定を初期化する」(40ページ)をご覧ください。

ご注意

工場出荷状態に戻すと、各設定項目の内容はすべて消去されます。

本体キーによる設定

初期画面から「メニュー」→「出荷状態に戻す」を選ぶ。

最新の機能を利用する(リビジョンアップ)

インターネットから本機の機能を管理するプログラム(ファームウェア)をダウンロードして、最新の機能をご利用いただけます(リビジョンアップ)。

ソフトウェアライセンス契約

リビジョンアップ機能をご利用頂くには、以下のソフトウェアライセンス契約に同意頂く必要があります。

1. 使用許諾

本使用許諾契約の定めにご同意いただくことによりダウンロード可能となるヤマハプロジェクトフォン(以下、「本製品」という)用ファームウェア(以下、「本プログラム」という)はヤマハ株式会社(以下、「ヤマハ」という)がお客様に使用許諾するものです。

本使用許諾契約は、ダウンロードした本プログラム及び本使用許諾契約に基づいて作成された複製物に適用されます。

2. 再配布の禁止

本プログラムは、本製品の機能アップグレードを目的とした場合に限りダウンロードすることができます。不特定多数の者によるアクセスが可能なウェブ・サイトなどにアップロード、掲示することはヤマハの許可を得た場合を除きできないものとします。

3. 複製物の作成

バックアップ目的及び、複数の本製品のアップグレードに必要な場合を除き、本プログラムの複製物の作成はできないものとします。

4. 逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブルの禁止

お客様は、本プログラム又はその一部を、逆コンパイルし、リバースエンジニアリングし、逆アセンブルし、修正し、再使用許諾し、頒布し、二次的著作物を創作しないものとします。

5. 責任の制限

過失を含むいかなる場合であっても、ヤマハは、本使用許諾契約に起因するお客様側の損害について一切の責任を負いません。

6. 外国為替法及び外国貿易法による規制

本プログラムは、「外国為替及び外国貿易法第25条第1項」に基づいて規制される技術(役務)に該当します。このため、本プログラム、及び本プログラムをインストールした本製品の日本国外への持ち出しには、日本政府による輸出許可が必要となる場合があります。また、本プログラムの、日本国内に住所を持たない人への提供にも、日本政府による許可が必要となる場合があります。

7. 日本に居住する人への限定提供

本プログラムは、日本国内に居住する法人または個人にのみ提供されるものとします。

8. 日本国法令の準拠

本使用許諾契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。

最新の機能を利用する(リビジョンアップ)(つづき)

ファームウェアを入手して、手動でリビジョンアップする

パソコンなどから最新のファームウェアを入手してから、PJP Writerソフトウェアを使用して本機に転送してリビジョンアップします。

ご注意

- リビジョンアップを始めたら、完了して本機が再起動するまで他の操作は絶対しないでください。万一、中断したときは本機が使えるなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。
- リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動されるため、すべての通信が切断されます。
- リビジョンアップ中は、絶対に本機の電源を切ったりUSBケーブルを抜いたりしないでください。本機が使いなくなり、持ち込み修理が必要となる場合があります。本機が使いなくなった場合は、再度リビジョンアップ操作を行ってください。

PJP Writerソフトウェアを入手する

PJP Writerソフトウェアは、プロジェクトフォンのホームページで入手できます。プロジェクトフォンのホームページからダウンロードのページに進み、PJP Writerソフトウェアについての説明をご覧ください。

プロジェクトフォンのホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

リビジョンアップを実行する

以下の手順で操作します。

ご注意

リビジョンアップ前に、パソコンで本機を使用するソフトウェアを終了してください。

- 1 本機の初期画面を表示する。
- 2 本機にUSBケーブルで接続しているパソコンで、PJP Writerを起動する。



- 3 ④ または ⑤ をクリックして、リビジョンアップに使用するファイルを指定する。

- ④ : ヤマハのWebサイトから、最新版のファームウェアをダウンロードします。
- ⑤ : パソコンに保存されているファームウェアの場所を指定します。

- 4 ⑥ をクリックして、ファイルを転送する。

ファイルの転送が終わると、自動的にリビジョンアップ処理が始まります。

リビジョンアップ処理には数分間かかります

リビジョンアップ処理中は、MIC MUTEキーのLEDが点滅します。LED点滅中は、本機の電源を切らないでください。

リビジョンアップが終了すると

本機が再起動します。

故障かな？と思ったら

お問い合わせになる前に

本書の内容をご覧になり、問題を解決してみましょう。

1. はじめにマイクインジケーターが点灯しているかどうか確認してください

消灯している場合は

「Q1：LED類が消灯している」(次ページ)をご覧ください。

2. 発生した問題に合わせて、説明ページをご覧ください

- Q2：通話音声に問題がある (39ページ)

それでも問題が解決しない場合は

サポート窓口までご相談ください(41ページ)。

Q1 LED類が消灯している

症状▶	原因▶	対策
マイクインジケーターが点灯しない	本機の電源が入っていない	• ACアダプターおよび電源コードが正しく接続されていることを確認する。 • MIC MUTEキーを押し続けて電源を切った場合(13ページ)は、本機のいずれかのキーを押して電源を再投入する。
	電源コードがコンセントに接続されていない	コンセントから外れているときは、正しく差し込み直す。
	主ブレーカーや配線別ブレーカーが切れている	• ブレーカーが「切」になっている場合は、「入」にする。 • ブレーカーが「入」になっている場合は、一度「切」にしてから「入」にし直す。
	停電している	停電中は、復旧するまで待つ。
	コンセントに電気が来ていない(他の電気製品も使えない)	• 他の製品が動かないときは、コンセントや電気配線の修理を依頼する。 • 他の製品が動くときは、本機の修理を依頼する。
	マイクミュート状態になっている(MIC MUTEキーのLEDが点灯している)	MIC MUTEキーを押してLEDを消灯させ、マイクミュート状態を解除する。

Q2 通話音声に問題がある

症状▶	原因▶	対策
相手の音声が届かない	相手がMIC MUTEボタンを押している	—
音声が途切れる	音声接続ケーブルが抜けた／音声接続ケーブルの接続が不安定	音声接続ケーブルをしっかりと接続する。
	USBケーブルが抜けた／USBケーブルの接続が不安定	USBケーブルをしっかりと接続する。
ハウリングが発生する	壁の側で使用している	壁の側を避けて設置する。
	本機の近くに物を置いている	本機のマイクの前にはできるだけ物を置かないようにする。
	反響の大きい部屋で使用している	• 本機のマイクの前を避けて、吸音性の高い物体を部屋に置く。 • 反響を減らすため、あまり大きな声で話さない。

本機の設定を初期化する

本機の設定内容を工場出荷状態に戻すことができます。

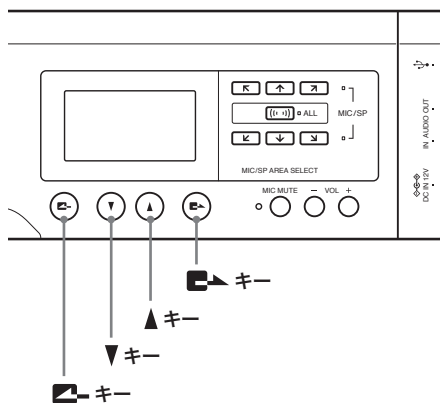
ご注意

設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合は、以下の点にご注意ください。

- 初期設定値が存在する設定は、初期設定値に変更されます。
- 操作を完了した後に、設定内容を元の状態に戻すことはできません。
- リビジョンアップを行った場合は、初期化してもファームウェアのバージョンは工場出荷時のバージョンには戻りません。

以下の手順で初期化します。

困ったときは



1 初期画面で▼キーを押す。

設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー
> 1. サウンド設定
2. 環境設定
3. 出荷状態に戻す

2 右向きキーを押してから上向きまたは下向きキーを押して、「3. 出荷状態に戻す」を選ぶ。

設定メニュー
1. サウンド設定
2. 環境設定
> 3. 出荷状態に戻す

3 右向きキーを押す。

「出荷状態に戻す」画面が表示されます。

出荷状態に戻す
1. はい
> 2. いいえ

4 「1. はい」を選んでから、右向きキーを押す。

本機の設定内容が初期化されて、設定メニュー画面に戻ります。

初期化をやめたいときは

手順4で左向きキーを押すか、「2. いいえ」を選びます。

サポート窓口のご案内

お問い合わせの前に

本書をもう一度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できるかどうかご確認ください。

お問い合わせ窓口

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

お客様ご相談センター

TEL : 053-460-2822

ご相談受付時間

9時～12時、13時～17時

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

お問い合わせページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

主な仕様

外形寸法(幅×高さ×奥行き)：

750 mm×100 mm×65 mm

質量：

2.9 kg (ACアダプター含まず)

電源：

AC100 V (50/60 Hz)

消費電力：

最大36 W

動作環境条件：

周囲温度 0～40 °C

周囲湿度 20～85 % (結露しないこと)

電波障害規格：

VCCIクラスA

USBインタフェース：

USB2.0 Full Speed、

USBオーディオクラス、HIDクラス準拠

USBオーディオフォーマット

録音・再生の各チャンネル

PCM サンプリング周波数 16kHz

量子化 16bit

専用アプリケーション使用時

PCM サンプリング周波数 16kHz

量子化 16bit

3チャンネル出力(拠点音分離)

音声入出力インターフェース：

ステレオアナログ入出力(各1系統)

コネクタ：ミニジャック

シリアルインターフェース：

RS232C準拠

コネクタ：ミニDIN

オーディオ

アレイ型マイク(指向性制御)

ゾーン收音機能

スポット收音機能

話者自動追尾機能

アレイスピーカー

点音源制御、指向性制御

拡散モード(モノラル出力)

スポットモード(モノラル出力)

音量：85 dB

周波数帯域

300～7000Hz (ワイドバンド)

信号処理

3ch 適応型エコーキャンセラー

ノイズリダクション

マイク/スピーカ アレイ制御

付属品：

ACアダプター (1個)

電源コード(1本)

スペーサー (3個)

USBケーブル(1本)

取扱説明書(本書)(1冊)

保証書(1枚)

本機を譲渡／廃棄する際のご注意

本機を譲渡／廃棄する際は、設定内容を初期化してください。

ご注意

本機を譲渡する際は、付属のマニュアル類もあわせて譲渡してください。

設定内容を初期化せずに譲渡／廃棄すると、情報が悪意のある第三者によって悪用されるおそれがあります。

初期化のしかたについては、「本機の設定を初期化する」(40ページ)をご覧ください。



● お客様相談センター

TEL 053-460-2822

ご相談受付時間

9時～12時、13時～17時

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

お問い合わせページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

WH49420